



わんぱく 通信

2018年
3月

No.24

今月の
おすすめ
絵本

テーマ

おとなもえほんをよんでみて♡

ひび、すこしずつあたたかくなりますね。えほんは、こどものものとおもっていませんか？
じつは、おとながよんでも、たのしめます。こどものときによんだことのあるえほんも、
おとなになってから、またよんでみるとあたらしいはっけんがあるかもしれません。

『ルピナスさん』



バーバラ クーニー
//さく
掛川 恭子//やく
(ほるぷ出版)

ルピナスさんは、おじいさんのことばを
たいせつにしながら、おとなになり、
そのやくそくをはたしていきます。
そのやくそくとは？

『よあけ』



ユリー・シュルヴィツ
//作・画
瀬田 貞二//訳
(福音館書店)

しずかでくらい よあけまえ。
やがてうすあかるくなり・・・
それから？

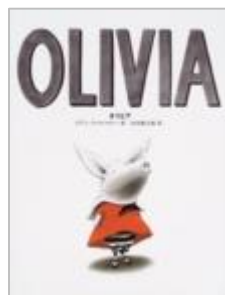
『もとこども』



富安 陽子//作
いとうひろし//絵
(ポプラ社)

おとなも、こどものころがありました。
このよのなかは、
「こども」と「もとこども」でできている。
こどもは、なにになるのでしょうか？
あなたは、なにになったのでしょうか？

『オリビア』



イアン・ファルコナー
//作
谷川俊太郎//訳
(あすなろ書房)

おちゃめなこぶたのオリビア。
よむとげんきになることまちがいなし。